

Quant Factor Library

グローバル株式市場における投資テーマを検出し、ポートフォリオ構築プロセスにそのアイデアを取り入れることで、データを実用的な情報へと変化させます。

HUNDREDS OF UNIQUE FACTORS



**信頼性の高い
ファクター**

5カテゴリ、24グループ
2,000超のデータ項目
日中更新
バイアスのない充実した
ヒストリカルデータ



**統合化された
データ**

シームレスな統合データ
ローバリューと
正規化された値
独自のコンテンツ
高度な分析や研究



様々な提供形態

FactSet Workstation
データフィード
Webコンポーネント
APIs

**FactSet の
各ソリューション**

**お客様
ワークフロー**

ファクトセットは、他社にはない統合されたファクターを提供することでお客様のポートフォリオ戦略、レポート作成、およびリサーチ業務の強化に貢献いたします。

独自のコンテンツと高度な分析でお客様のファクター投資プロセスを合理化

ファクトセットのQuant Factor Libraryは、何十年にもわたるファイナンス理論に基づいて事前に計算され、コスト・パフォーマンスに優れた2,300以上のグローバル株式データ項目を提供します。信頼性の高いテクノロジーを用いて127か国200以上の取引所に対する7万以上の証券データを配信します。ValueやQualityなどの従来のファクターグループのローバリュー、正規化されたエクスポージャー、コンポジットスコアや、内部利害関係者、コーポレートガバナンス、クラウドディングなどの新しい特性をご利用いただくことができます。

事前にクリーニングされた広範コンテンツを使って調査とレポート作成業務を強化

ファクトセットは40を超えるデータセット(24セットの独自セットを含む)を有しており、財務データの取得、統合、管理において業界をリードしています。弊社のコンテンツを使用すると、グローバル市場の監視や企業調査が行えるだけでなく、財務、収益予想、負債、株主情報などを含む包括的なファクターについて業界レベルの洞察を得ることができます。

また、ローバリュー、ランキング、Zスコアなどのファクター値の算出には、クリーニングおよび検証に様々な過程を経ており、信頼性の高い正確なデータを保証しております。

なお、先読みバイアスを排除し、世界の株式市場で何が好調であるかを判断するのにファクトセットの計算エンジンが活用されています。整合性と適時性を兼ね備えたポイント・イン・タイム・データまたは適切に調整されたラグデータは、1986年まで使用可能であり、毎日蓄積されます。

モデルの作成と銘柄選択ストラテジーの最適化

ファクトセットは、リサーチやポートフォリオの構築まで分析や評価プロセスのすべての過程において、ワークフローに直接統合するための安定したデータソリューションを開発しております。業界をリードするポートフォリオ分析ツールにファクターの値をシームレスに統合したり、ポートフォリオシミュレーション機能を活用して、時間の経過とファクターを考慮して最適化されたポートフォリオを構築します。アルファテストでは、高度なマルチファクターシグナルの生成を通じて、ファクターを調査し、アルファの新しいソースを特定します。ニーズに応じた独自の計算式を作成する環境で、カスタム計算を行うことも可能です。ファクターライブラリ全体をすばやく検索し、強力なスクリーニングツールを使用して効果的にご希望のレポートを作成できます。

Quant Factor LibraryはFactSet Workstationでご利用いただける他、ファクトセットのAnalytics APIsやカスタマイズされたFTP配信データフィードで使用いただけます。

ファクターをベースとしたソリューションを通じて即時利用可能な価値を提供

ローファクターバリュー

高度なファクター分析

グローバル株式のカバレッジ

および日中更新

正規化されたファクターエクスポージャー

アルファシグナルの生成

過去実績に対するバイアスのない見方

コンポジットファクタースコア

機械学習予測

透明性の高い計算と定義

分類ファクターとリファレンスデータ



アセットデータ: 定量的なリサーチプロセスに銘柄レベルのメタデータを簡単に入力できます。一般的な項目では、「決算発表日からの日数」、「決算発表日までの日数」、「ADRフラグ」および「最小売買単位」があります。ファクトセットのリファレンス、財務、予想データベースの変数を統合して、ポートフォリオの制約を課すための一般的なリファレンスデータをご利用いただけます。



国: エクスポージャーが最も高い国を基に銘柄を評価いただけます。さまざまな国における企業レベルのエクスポージャーを分析し、事業を展開している国における企業の事業集中度を測定しています。ファクトセットのリファレンス、地域別収益エクスポージャー(GeoRev) データベースから算出される、カントリーエクスポージャー、設立国、カントリーリスクなどがあります。



業種: 収益の大部分を占める業種に分類を行うファクトセットのRevere業種分類 (RBICS) データベースの変数を組み込んで、企業が活動する業界内および様々なサブセクター間で企業のビジネスがどの程度集中しているかを測定します。業種分類、業種別エクスポージャー、業種の集中度、といった項目があります。



規模: 同業他社と比較して企業の規模を評価いただけます。規模を分類し、ファクトセットの価格、RBICS、財務項目、および予想データの変数を使用して、企業収益の体系的な部分を明確にします。一般的な測定項目には、サイズ分類、企業価値、市場シェアなどがあります。

マーケットファクター



流動性: ファクトセットの価格データからの価格と数量データを用いて、証券がどの程度投資可能か、また取引が市場に与える潜在的影響を評価いただけます。ファクターを構成要素としてアルファ・モデルに統合してシステムティック・リスクを評価したり、ポートフォリオ構築モデルに入力して、流動性レベルに基づいて資産の売買可能額を決定したりします。一般的な指標には、平均売買代金、株式回転率、Bid - Askスプレッドなどがあります。



市場感応度: 各市場のインデックスのパフォーマンスに起因する株式リターンの一時的な変動を明確にいただけます。様々なリターン・ホライズンおよび方法論にわたって求められる、証券レベルのリターンと市場インデックスのリターンについて回帰を求めます。ファクトセットの価格データから算出される、ベータ、決定係数、デュアル・ベータが含まれます。



モメンタム: 歴史的なモメンタムを分析し、さまざまな状況において、基礎となる各データ項目、計算、範囲がどのように意味を持つかを明らかにします。指標はファクトセットの価格データから派生した52週のポジション、リターンモメンタム、ベロシティを含みます。



テクニカル: 過去の市場データに基づいて将来の価格変動の方向性を予測し、ファクトセットの価格データからのヒューリスティックまたはパターンベースのシグナルを活用いただけます。一般的な指標には、ATR(Average True Range)、アルサーパフォーマンスインデックス、マネーフローボリュームなどがあります。



ボラティリティ: ファクトセットの価格データの指標を使用して、資産価格の変動の不確実性を測定いただけます。銘柄のパフォーマンスに統計的な計算を行って、さまざまな形態の不確実性を把握します。一般的な指標には、リターンボラティリティ、半分散、乱高下などがあります。

FACTSET > SEE THE ADVANTAGE

コアとなるファンダメンタルファクター



効率性: 中核となるファクトセットの財務データを活用して、企業が資産をどの程度効率的に使用し、資金を回収し、ビジネスを運営しているかを判断します。ほとんどの変数は回転率として測定され、各ビジネスプロセスの効率性を透明にするために、時間の経過に伴う変化を含みます。項目は財務および収益予想のデータベースから算出され、資産回転率、売上債権回転率およびキャッシュコンバージョンなどが含まれています。



成長性: 競合他社よりも速く成長できるかを測定します。企業の将来の予想成長率と過去の成長率を比較し、安定性を考慮した成長率を確認いただけます。ファクトセットのRBICS、財務、予想データの変数を統合して、市場シェア、売上、EPS成長など、複数の期間にわたる成長率を分析します。



マネジメント: どのようなファイナンスを行っており、中核となる財務諸表に影響を与える意思決定を行っているかを把握できます。これらの意思決定は、負債または資本合計の変化、貸借対照表の全体的な規模、および適用される会計処理方法に関する決定に反映されます。項目としては、ファクトセットの財務および予想データ、リファレンスデータから算出され、資本支出 (CAPEX) 成長率、自己株式買戻し率、減価償却費の変動などが含まれます。



収益性: 損益計算書または貸借対照表の各項目を比較して、収益を生み出す企業の能力を評価します。業界、地域、規模に関連して収益性の高いビジネスを特定します。ファクトセットの財務および予想データから算出された、ROA、ROIC及びROEといった項目が含まれます。



クオリティ: 企業の全体的な財務状態とビジネスの「質」を明らかにします。ファクトセットの財務情報のヒストリカルデータを使用して、貸借対照表の健全性、収益および利益率の安定性、キャッシュ・フローの変動性、および全体的な主要な財務指標を超えたトレンドを分析します。一般的な指標には、キャッシュフロー倍率の変動性、収益安定性、アクルーアルレシオなどがあります。コンポジットのクオリティスコア (Piotroski Fスコア、Beneish Mスコア、Altman Zスコア) とその基礎となるコンポーネントも、個別の項目として利用できます。



解決力: 企業の短期および長期負債の返済能力を測定し、ビジネスを運営するためにどの程度のレバレッジをかけているかを判断します。ファクトセットの財務、予想データを用いて、収益、キャッシュフロー、株式、または貸借対照表の資産サイドの項目に対して負債または債務を定量化するために財務比率を算出します。一般的な指標には、流動比率、当座比率、および負債比率などがあります。



バリュー: ファクトセットの価格、財務、予想など、証券レベルの特性に基づいて、価格の割高・割安を素早く判断することができます。最もクオリティの高い銘柄の中から最割安銘柄を見つけるなど、よりカスタマイズされた分析を行えるようファクターを他のファクターへと交差させて算出しています。一般的な項目として、利回り、PBR、企業価値利益率などがあります。

マクロおよびクロスアセットファクター



コモディティ (商品): 商品市場の動きが株価に与える影響を定量化します。項目はファクトセットの価格データから算出され、金、原油、コーヒー、牛などの商品に対する企業レベルのエクスポージャーを測定できます。



為替感応度: 為替相場の変動に対する証券レベルでの感応度を分析いただけます。ファクトセットの価格データから導出されたUSD、EUR、JPY、CNYなどの通貨に対する企業のエクスポージャーをご利用いただけます。



債券: 発行体レベルのファクターのエクスポージャーを通じて企業の負債に関する詳細を明らかにします。ファクトセットの債券データベースを使って企業レベルでのデータを作成しています。一般的な項目には、実効デュレーション、オプション調整後スプレッド、最低利回りなどがあります。



マクロ経済: 主要経済指標の予測に対する日々の証券のエクスポージャーを把握いただけます。Quant Factor Libraryの詳細な個別エクスポージャーモデルを活用して、経済指標を個々の企業に帰属させます。各項目はファクトセットの経済予想データから計算されており、実質GDP成長率、産業生産成長率、コアCPIインフレ率、政策金利などがあります。

オルタナティブファクター



アナリストの景況感: セルサイドのリサーチアナリストの視点から証券の見通しを分析いただけます。ファクトセットの収益予想のデータベースからコンセンサス予想データを活用して、様々な財務項目および期間のリビジョンにおける方向性の変化を分析します。一般的な項目には、予想売上高のリビジョン、予想フリーキャッシュフローのリビジョンなどがあります。



コーポレートガバナンス: コーポレートガバナンスを強化している企業を特定できます。在職期間、多様性、報酬インセンティブ、およびファクトセットの人物情報のデータベースのその他のファクターに基づいて企業の経営陣と取締役会のプロフィールを分析します。一般的な項目として、経営陣の平均年齢、取締役会活動メンバー、役員平均報酬などがあります。



ESG: ビッグデータと人工知能 (AI) を融合させ、SASBフレームワークにきれいにマッピングされた環境、社会、ガバナンス (ESG) スコアの偏りのないリアルタイムビューをご覧ください。指標はFactSet TruValue Labsに由来し、長期的なESGの実績と投資家の注目度を組み合わせたTruValue ESG Activity Signalが含まれています。



クラウドイング: どの投資家がどの程度証券を保有、買入、売却しているのか把握できます。各投資家のプロフィールの特徴を表示し、パッシブ、アクティブ、機関投資家、ETF、ヘッジファンド投資家からの取引を特徴づけます。ファクトセットの株主情報、価格データ、および財務情報を利用して、特定の投資家タイプが特定の証券を取得しているか売却しているかなど、クラウドイングの潜在的な影響を特定します。一般的な項目には、ポートフォリオ変更におけるアクティブ購入者比率、ETFの清算までの日数、ヘッジファンド残高比率などがあります。



内部利害関係者: どの内部利害関係者が自社株を保有、買入、または売却しているのかを確認いただけます。重要な非公開情報にアクセスできる関係者のセンチメントを分析したり、内部利害関係者の保有が経営陣の主要なビジネス上の意思決定にどのような影響を与えるかを判断します。項目はファクトセットの株主情報から派生し、内部利害関係者の保有比率、買入数、および売り越しのポジション変化などがあります。

情報分析: ファクトセットワークステーションで、クラス最高の各種ツールを使って分析いただくことができます。

